TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神様の知恵　死に対する勝利

コリントの信徒への手紙一 15 章 50 節－58 節

2025 年 10 月 11 日 & 12 日
余沢　武　牧師

I.イントロダクション

こんにちは。インパクトビルディングプロジェクトのための支援とお祈りをありがとうございます。先週、区役所を訪ねることができました。神に賛美あれです。新しい建物が完成するまで、今の建物を引き続き使用できることになりました。この後、主の晩餐があります。心を整えましょう。

コリントの信徒への手紙一で、私たちは、コリント教会の中に「クリスチャンのからだの復活」を疑う人たちがいたことを学びました。

パウロは彼らにこう語りました。イエスの復活は、私たちの復活の「初穂」、つまり「見本」であり「保証」です。種から新しい芽が出るように、私たちからも新しい種類のからだがよみがえります。その新しいからだは、イエスの似姿を持ちます。私たちはイエスのように考え、願い、行動するようになります。それゆえ私たちがまったく新しくなるので、天は私たちにとって最もすばらしい場所となるのです。
今日は、この「復活のからだ」のすばらしさを見ていきましょう。お祈りします。

II.死に対する勝利

(1)肉と血

コリントの信徒への手紙一 15 章 50 節に行きましょう。
「50 きょうだいたち、私はこう言いたいのです。肉と血は神の国を受け継ぐことはできません。また、朽ちるものが朽ちないものを受け継ぐこともありません。」

「肉と血」という言葉は、先週学んだ私たちの地上のからだを指しています。それは、今の私たちのからだをこう表しています。
・朽ちるもの… だんだん腐っていく。
・恥ずべきもの… 愛がなく、高慢で、不道徳。
・弱いもの… 神の御心を行う力が欠けている。
・自然のもの… 自我によって導かれ、自分の力で動き、自分で支えようとしている。

パウロは言います。そのようなからだでは、神の御国を受け継ぐことはできません。
一方で復活したからだは、
・朽ちることがなく：時を追って命にあふれます。
・栄光：神の愛、へりくだり、優しさ、そして聖さを表しています。
・力があたえられ：御心を行うためです。
・霊的なからだ：神と御霊によって完全に導かれ、支えられ、生かされています。

神の御国を受け継ぐためには、その人が神によって治められ、導かれ、力を与えられ、支えられていることが必要です。私たちは次の人生からそのことを知ることができます。

モーセの例です。彼がイスラエルの民と荒野にいたときのことを思い出してください。水がなくなり、人々は不満をぶつけました。けれどもモーセは人々と口論する代わりに、真っ先に神のもとに行き、主の導きを求めて、「私はこの民にどうしたらよいのでしょうか」と問いました。
モーセは目の前にあった岩を打てという神の指示に即従いました。すると、水が湧き出ました。神がすべてであったことに気がつきますか？　モーセは導かれ、力を受け神に支えられてそれを成し遂げました。

宗教改革者マルティン・ルターにもそれを見ることができます。彼は、カトリック教会が「救いは信仰によってのみ与えられる」という聖書の教えの代わりに、「お金（免罪符）で救いを買える」と教えていたことを見て、それに反対する論文を書きました。教会は彼に撤回するよう命じました。

従わなければ破門されるか、場合によっては死刑にされます。ルターはどうしたでしょうか。彼は一晩中祈り、神の導きを求めました。そして恐れと震えの中で、「私は、何も撤回することはできません。ここに私は立っています。私にはこれ以外にできません。神よ、私をお助けください」と言いました。
その結果がープロテスタントの宗教改革です。 聖書の真理がこうして世界中に広がっていきました。 神がすべてなのです。ここにも再び神に導かれ、力注がれ、支えられた人の姿を見ることが出来ます。

さらに、完全な模範はイエスの中にあります。

ゲッセマネで、イエスは十字架を恐れていました。そこで、イエスは父なる神の元に行って祈られました。「父よ、もしできることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いではなく、あなたのみこころのままになさってください。」 そして、これが父なる神の御心であると知ってからは、彼はご自身を十字架にかけるために、進んで身をゆだねられました。

そしてその結果、救いが私たち全てに与えられ、イエスは死からよみがえられました。イエスこそ、完全に神に治められた方でした。神の導き・神の力・神の支えに頼っていました。

これこそが、神の御国を受け継ぐ神の民の特徴です。その人は職場でも、家庭でも、教会でも、困難に直面したときはいつも、まず真っ先に神と御言葉のところに行き、神の導きに従います。神の導き・神の力・神の支えに頼ります。
それに反対の特徴である―肉体と血―は神の御国を受け継ぐことは出来ません。確かにパウロは「朽ちるものは朽ちないものを受け継ぐことはできない」と言っています。つまり、肉体さえも変えられる必要があるのです。日々衰え、朽ちていく地上のからだでは、神の御国を受け継ぐことはできません。

(2)秘儀

51 節から 53 節です。**「51 ここで、あなたがたに秘義を告げましょう。私たち皆が眠りに就くわけではありません。しかし、私たちは皆、変えられます。 52 終わりのラッパの響きとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴り響くと、死者は朽ちない者に復活し、私たちは変えられます。53 この朽ちるものは朽ちないものを着、この死ぬべきものは死なないものを必ず着ることになるからです。」**

これは「神の奥義」です――以前は隠されていたことが、今、神によって明らかにされています。
その「奥義」とはこうです。
「私たちは皆、眠りにつくわけではない」――すなわち、イエスが再び来られる前に、すべての人が死ぬわけではありません。
「しかし、私たちは皆、変えられます！」――生きている者も含め、すべてのクリスチャンが変えられる必要があるのです。

パウロによると、御国が来た時の本当の問題は、私たちが死者の中からよみがえるかどうかではありません。もちろん、それも重要です。しかし本当の問題は、私たちが朽ちない、栄光に満ち、力ある信仰によるからだに変えられ、神の御国で生きるかどうかです。

これは、選手としてオリンピックに出るようなものです。本当の問題は、オリンピック会場に行くための航空券を手に入れられるかどうかではありません。もちろん、それも大切です。しかし本当の問題は、オリンピック選手として競技できる能力を持っているか、つまりそれの一員であるかどうかです。

(3)死が呑み込まれた

どういうことでしょうか？**54 節と 55 節**です。**「54 この朽ちるものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、次のように書かれている言葉が実現するのです。／「死は勝利に呑み込まれた。55 死よ、お前の勝利はどこにあるのか。／死よ、お前の棘はどこにあるのか。」**

私たちが朽ちない、死なない、霊的な体を着るとき、私たちが「腐食しない」「イエスに似た」姿に覆われるとき、「死」は勝利に呑み込まれるのです。
この「呑み込まれる」という表現は、圧倒的な力を持つ存在による破壊の力を示しています。たとえば、小さなカエルがライオンに呑み込まれるようなものです。呑み込まれた瞬間、その存在は完全に消え去ります。二度と見ることも聞かれることもありません。ゲームオーバーです。 そこにはもはや神の栄光以外に何もありません。

ここに理由があります。**56 節と 57 節**です。**「56 死の棘は罪であり、罪の力は律法です。 57 私たちの主イエス・キリストによって私たちに勝利を与えてくださる神に、感謝しましょう。」**

人はハチを恐れます。毒針を持っていて、刺されると命を奪われるからです。しかし、一度針を取り除けば、それらはまったく無害になります。
人は死を恐れます。死には「罪」という強力な毒針があるからです。私たちのうちに入ると、命を奪います。言い訳は何もできません。律法、聖書がはっきりと警告しているからです。しかし、一度「罪」が取り除かれれば、死は存在しなくなります。

朗報があります。イエスが来られて、私たちのすべての致命的な毒針――過去の罪、今の罪、そして未来の罪――をご自身に背負い、十字架の上で私たちのために死なれました。
それだけでなく、もし私たちがイエスを主・救い主として受け入れるなら、イエスが戻られるその日、私たちは罪

を跳ね返すイエスの似姿の新しいからだを持つことになります。まるで磁石同士が反発し合うように、罪を寄せ付けません。その日、私たちは「死」に完全な勝利を得ます。死は永遠に消え去ります。

(4)まとめ

58節です。「58 私の愛するきょうだいたち、こういうわけですから、しっかり立って、動かされることなく、いつも主の業に励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあって無駄でないことを知っているからです。」

パウロはこう言います。死は打ち負かされたのですから、恐れる必要はありません。主の働きにおいて優れなさい。神があなたにしてほしいと望まれることに焦点を合わせなさい。―私たちが今日モーセやルター、イエスの例に見たことです。

これまで見てきたモーセ、ルター、イエスが示した「霊的な特性」の例の中で、共通していたことが何かわかりますか？

彼らには、あるものを手放したという共通点がありました。彼らは皆、「結果に対する自分のコントロール」を手放し、神が最善の結果をもたらしてくださることを信頼したのです。

この信頼によって、次のことが可能になりました。
①モーセは、神の言葉に従い、人々の前で岩を打つことができた。
②ルターは、聖書の真理にしっかりと立ち、「私はこれ以外にできません」と言うことができた。
③イエスは、「わたしの願いではなく、あなたのみこころのままに」と言うことができた。

神の御言葉に従い、神の御心に沿って生きようとするとき、私たちは「結果を自分でコントロールする」という思いを手放す必要があります。
もし結果を自分でコントロールしようとすれば、人を脅したり操作したりする必要が出てきます。そこに罪があることに気付きます。

結果を手放すこと、これは敬虔さを分けることになります。愛に満ち、謙遜で、優しく、清らかに、神の御心を行うことができるかです。モーセやルターやイエスのように、職場で、学校で、家庭で、教会で、なることができます。しかし、そこに神を信頼し、結果の支配を手放す必要があるのです。

パウロは言います。
「しっかり立って、動かされることなく、いつも主の業に励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあって無駄でないことを知っているからです。」
つまり、必ず報いがあるということです。

「死」は勝利によって呑み込まれました。今、私たちは、イエスを主・救い主として受け入れることによって、勝利を得ることが出来ます。その決断を、今日、あなたもなさってください。

今日は、「主の晩餐」を守りながら、次のことを思い起こします。
①「イエスの罪のないからだ」が、私たちのために献げられたこと(パンを通して示されます)。
②「イエスの血」が、私たちの罪のために十字架で流されたこと(杯を通して示されます)。
③イエスの再臨に望みを置くこと――そのとき私たちは皆、朽ちず、栄光に満ち、力ある、聖霊によって満たされた「復活のからだ」を受け取り、もはや「死」はなくなること。

心を整えましょう。次のことを通して準備します。
①罪を告白すること:愛に欠け、高慢で、批判的で、不道徳であったことを認めます。
②神に従うことを決心すること:結果へのコントロールを手放し、愛に満ち、謙遜で、優しく、聖なる者として生きることに焦点を置きます。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg4225jp

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
10 月 12 日（日）1：00pm – 5：00pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 201 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 101
教会員になるためのクラス
11 月 8 日（土）1：30pm – 5：30pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: どなたでも

★クラス 401
人生の使命を発見する
11 月 9 日（日）1：00pm – 5：00pm
場所: ルーム 304（3F）
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

全クラス申し込み：
https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト&印刷

（女性 3 名募集）

英語のスキルは必要ありません。
・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org